

発行：富山県高岡農林振興センター 高岡市赤祖父211 高岡総合庁舎2階 TEL(0766)26-8474 FAX(0766)26-8475

ホームページは高岡農林振興センターで検索!!

高岡農林振興センター

検索



GAP 推進セミナー



高校生の就農体験（氷見高校）

目次

- お知らせ P1
- 平成28年産米に向けた品質向上対策 P2
- 稲作情報
飼料用米多収性品種「やまだわら」について P4
- 園芸情報
(有)ファーム中田が北陸農政局長賞を受賞 P4
多彩なチューリップ切り花の有利販売に向けて P5
導入が進むコンテナ栽培小粒イチジク P5
- 【シリーズ】とやま GAP(ギャップ) ~第4回~
労災保険の加入 その1加入条件 P6
- がんばる農村女性起業家（高岡市 前崎ひろみさん） P7
- 【シリーズ】新規就農者のご紹介 ~第10回~
柴田秀行さん（高岡市） P7
- (有)中山農産が農林水産大臣賞を受賞 P8
- (農)下村三箇が富山県功労賞を受賞 P8

お知らせ

【決算相談会の開催について】

当センターでは、管内の認定農業者や集落営農組織の経営管理の高度化を目指し、下記のとおりパソコン簿記（ソリマチ農業簿記）による決算個別相談会を開催します。パソコンによる簿記ソフトの操作から決算書の作成、印刷まで気軽に相談できる良い機会ですので、多数の参加をお待ちしております。なお、出席を希望される方は日時の調整が必要ですので、**事前に**下記事務担当までご連絡をお願いします。

- 1 日 時 ①平成28年2月18日（木） } 13:30~16:30
 ② " 3月 3日（木） }
- 2 場 所 高岡農林振興センター（高岡市赤祖父211）
 ※高岡総合庁舎2階「農林振興センター（農業普及）」までお越し下さい。
- 3 講 師 株式会社トヤマデータセンター及び当センター職員
- 4 事務担当 担い手支援課 経営支援班 TEL:0766-26-8474（直）

【とやま農業未来カレッジ公開講座の開催について】

- 1 日 時 平成28年1月29日（金） 13:30~15:00
- 2 場 所 富山県農業総合研修所2階大研修室（富山市月岡新296番地）
- 3 講 師 グリーンリーフ株式会社 代表取締役 澤浦 彰治 氏
- 4 演 題 「農業で成功する人の秘訣」
- 5 申 込 先 とやま農業未来カレッジ TEL(076)461-3180（1月20日まで）

平成 28 年産米に向けた品質向上対策

～早生「てんたかく」のカメムシ斑点米発生防止対策について～

1 平成 27 年産米について

富山県の平成 27 年産米の作柄は作況指数 103 と北陸地域で最も高く、収量も 559kg/10a と過去最高となりました。管内においても地域差はありますが、概ね平年並み以上の収量が確保されています。

一方、品質においては「コシヒカリ」の白未熟粒の発生が少なかったことにより、管内各 JA とも一等比率は 90%以上となったものの、早生「てんたかく」については、カメムシによる斑点米が多発し、品質が低下しました。

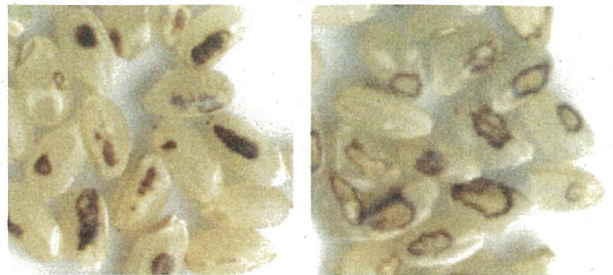
近年、共同施設や大規模経営体に導入が進んでいる高性能色彩選別機による斑点米除去で、検査等級が一等となったものもありますが、選別ロス是非常に大きく、28 年産米に向けてカメムシ斑点米発生防止対策は大きな課題となっています。

2 カメムシ斑点米の発生要因と発生防止対策について

(1) 斑点米の発生状況

カメムシによる斑点米は早生「てんたかく」で多発し、一部、早植えの「コシヒカリ」でも発生しました。

また、斑点米の症状の特徴から、そのほとんどがカスミカメムシ類によるものと考えられます。



カスミカメムシ類の加害による斑点米
(左)側部しみ状、(右)側部斑紋状

(2) 斑点米が多発した要因

①カスミカメムシ類の多発

4 月下旬から 6 月中旬の高温・少雨によりカメムシ類（特にカスミカメムシ類）が多発しました。

(6 月 24 日にカメムシ発生注意報発令)。

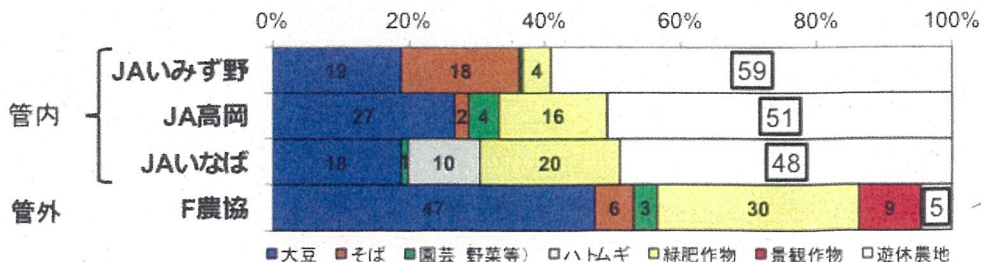
②割削の多発

「てんたかく」の籾殻肥大期（7 月 10 日～15 日頃）が低温傾向で、籾殻の肥大が抑制され小さくなったところに、玄米肥大期（7 月 25 日～8 月 5 日頃）の高温・高日射量により玄米の肥大が促進され、割削発生率が約 18.4%（平年 5.1%）と高くなり、割削の際間からカメムシに吸汁されやすい条件が生じました。

③畦畔や麦跡ほ場の管理の不徹底

畦畔や周辺にカメムシ類の発生源となる雑草が多いほ場や、本田内の雑草（特にノビエ、ホタルイ）が多いほ場で斑点米が多発しました。

なかでも、麦跡ほ場において、不作付地のまま放置されたスズメノテッポウ等の畑地雑草がカメムシの発生源となった他、そばの播種まで放置されてヒメムカシヨモギ等の畑地雑草がカメムシの生息地となるなど、管理が不十分なほ場周辺で被害が多発しました。



管内JA大麦跡ほ場の土地利用状況 (H27)

管内 3JA は41～52%と麦跡ほ場の活用が少ないのに対して、管外のF農協は95%活用されており、「てんたかく」の1等比率は100%である。

④不十分な本田防除

早生品種の本田防除を粒剤で実施したほ場や、無防除だったほ場で多発しました。

(3) 平成 28 年産米に向けた早生「てんたかく」の斑点米発生防止対策

①割籾の発生防止

割籾の発生は気象条件の影響が大きいです。栽培管理では、①初期分けつを確保し、目標の穂数と籾数を確保すること、②珪酸質資材を施用して籾殻を硬くすることで割籾発生を軽減することが可能です。

②カメムシ類の発生・増殖しにくい環境づくり

本年の水稲登熟期のカメムシ発生状況から、越冬卵数はかなり多いものと推測されます。次年度に向けカメムシのエサ場・繁殖の場となる雑草の発生を徹底して無くすることが重要です。以下の対策を地域ぐるみで取り組みましょう。

●ポイント1

- (ア) 畦畔や農道路肩の雑草を刈払い、カメムシの越冬卵数を減らしましょう（12月～3月末に行い、刈った雑草は本田内に入れる）。
- (イ) 幼虫の餌となるイネ科雑草の発生を抑えるため、水田畦畔や農道に水田畦畔用土壌処理剤「カソロン」を散布しましょう（秋冬期～3月上旬まで）。
- (ウ) 早生の出穂前（7月10日頃）の一斉草刈の実施を徹底しましょう。

●ポイント2

水田内の雑草（特にノビエ、ホタルイ）の除草を徹底しましょう。



アカヒゲホソドリカスミカメ



アカスジカスミカメ



秋期の増殖・産卵場所となるメヒシバ



餌となる水田内のホタルイ



幼虫の餌となる麦跡ほ場のイネ科雑草
(左)スズメノカタビラ (右)スズメノテッポウ



●ポイント3

麦跡ほ場は、大豆や園芸作物を栽培しましょう。これらの作物を作付できない場合は地力の向上に向け、緑肥の作付を行いましょ。また、そば等の播種まで日数がある場合は、雑草が繁茂しないよう耕起またはモア処理等で管理しましょ。

飼料用米多収性品種「やまだわら」について

1 「やまだわら」導入のメリット

主食用米でありながら、本県では知事特認の飼料用米多収性品種として認められており、10a 当たり 12,000 円の産地交付金が支給されます。

経営所得安定対策の戦略作物として、標準助成額 80,000 円に加え、粗玄米で標準単収より 150kg 多い場合は数量払いが加算され、10a 当たり 25,000 円が上積み支給されます。

表「やまだわら」の単収 (kg/10a, 玄米)

	JA高岡	JAいなば	JA氷見市
H26	667	—	—
H27	777	723	837

※振興センター調査ほの坪刈り収量
(H26 は全刈り収量)

2 やまだわらの品種特性と栽培上の注意点

【品種特性】

当センター管内の2年間 (H26、H27) の調査結果から、

- ① 5月の連休植えでは8月中旬頃に出穂し、成熟期は10月上旬頃
- ② m²当たり着粒数は4～5万粒 (コシヒカリの目標値は2.8万粒) と多い。
- ③ 成熟期が遅いことから、登熟歩合は低めだが粗玄米収量は700kg/10a以上と多い。

【栽培上の注意点】

- ① 成熟期の遅れによる登熟低下を防ぐため、5月5日頃までに田植えを行う。
- ② 栽植密度は50～60株/坪とする。
- ③ 基肥量は「てんこもり」並みとする。
- ④ 栽培期間の葉色を4.0以上に維持する。
- ⑤ 周辺の主食用米へのカメムシ被害を防ぐため、主食用米に準じた雑草・病虫害防除を徹底する。
- ⑥ 乾燥コスト低減のため、成熟期以降10日間程度の立毛乾燥により低水分で収穫する。
- ⑦ 漏生剤対策として、作付ほ場を固定するとともに、機械、施設の清掃を徹底し混種を防止する。

(農業普及課)

有限会社ファーム中田が「地産地消優良活動表彰 北陸農政局長賞」及び「とやま地産地消優良活動賞」を受賞

有限会社ファーム中田は、氷見市内最大規模の野菜苗及び野菜生産者として、直売所等を中心とした地産地消活動を行っています。

また、市内では栽培されていなかった加工・業務用の西洋野菜を市内レストランに直売しているほか、冬期間の気象条件を活かした「カンカン野菜」(寒締めほうれんそう) 生産の中心的な存在となっています。

さらに、未利用資源であった「はまぼうふう」の地域特産化に関係機関と取り組み、市内及び県内レストランに出荷するなど商品化を実現するとともに、将来の担い手候補である高校生の就業体験を受け入れるなど、食育活動への支援を継続的に行い、地域農業の活性化に寄与した功績から、両賞を受賞されました。

(担い手支援課・園芸振興班)



受賞された(有)ファーム中田代表 中田専秀氏 (右)

多彩なチューリップ切り花の有利販売に向けて

高岡市の戸出町チューリップ切花生産部会（ファーマーズ オブ チューリップ）は、球根生産地としての利点を活かしながら、生産者育成のオリジナル品種や八重、フリンジ、ユリ咲きなどの変わり咲き品種を中心に生産しています。本年度は約 190 品種、90 万本の多彩な品種を栽培しており、12 月初旬から順調に出荷が始まっています。当部会は他産地にはない斬新な品種を提供することを目指しており、毎年花き関連全国誌の特集や各地の市場・仲卸での展示会などを通じたPR活動も積極的に行ってきました。本年度は新たに部会 Facebook を立ち上げました。これからも最新の品種、商品に関する情報をリアルタイムで発信し、更なる有利販売につなげていきたいと考えています。



ハウス内で順調に生育中のチューリップ



富山県高岡市のチューリップ切花生産者が発信するページです。
正式組織名：戸出町（といでまち）チューリップ切花生産部会

新たに立ち上げた部会の Facebook ページ
(<https://m.facebook.com/Farmers-of-Tulip-Takaoka-1544951335769722/>)

導入が進むコンテナ栽培小粒イチジク

1 コンテナ栽培小粒イチジクについて

イチジクは栽培が比較的容易で、軽作業が中心であるなどメリットの多い品目ですが、降雨で品質が低下するため雨除け栽培が望ましい品目です。このため、県内では水稻の育苗終了後のハウスを有効に活用し、高品質な果実が収穫できる、ハウス内でのコンテナ栽培イチジクが取り組まれています。イチジクの品種は外食産業等から需要が強い小粒品種の「コナドリア」（右図）をお勧めしています。

2 小粒イチジクの特徴

- ・ 順調に生育すれば導入後2年で収穫が可能
- ・ 主枝を水平基調とする「一文字整枝」（右図）なので管理が簡単
- ・ 台風等の気象災害のリスクが少ない

3 留意点

- ・ 収穫期は8月下旬～10月中旬頃までなので稲刈りと競合します。
- ・ 収穫は毎日行う必要があります。
- ・ こまめなかん水を行うため自動灌水装置が必要です。

小粒イチジクは結実が早く挿し木での繁殖が可能なので、自前で増殖できます。小粒イチジクで育苗ハウスを有効に活用してはいかがでしょうか。

（担い手支援課・園芸振興班）



小粒イチジク「コナドリア」



一文字整枝（定植2年目）

【シリーズ】とやま GAP (ギャップ) ~第4回~ 労災保険の加入 その1 加入条件

個人経営者、法人を問わず、事故によるケガ等は経営の維持だけでなく、その家族の生活を破壊する恐れもあります。万が一のケガや事故に備えて労働者災害補償保険（以下、労災保険と略）に加入しておきましょう。

法人や営農組合の従業員や家族は一般加入できる場合が多く、組織の代表者や構成員も一定の条件を満たせば、特別加入制度で労災保険に加入できます。

今回は、この労災保険の加入条件等について解説します。

< 労災保険の加入 > ・ ・ ・ 根拠法令「労働者災害補償保険法」他

● 「労災保険」とは？

労災保険は、労働者の業務上や通勤途上の災害によるケガや病気を対象とした制度です。農業の場合、以下の場合は必ず加入しなければなりません。

表1 農業部門での労災保険への加入が義務となる事業者（○の付いた事業者は必須）

区 分	常時雇用5名未満	常時雇用5名以上
個人経営者		○
法 人	○	○

従業員のような労働者だけでなく、事業者本人も表2のいずれかの場合に該当すれば、労災保険に特別加入できます。

表2 労災保険の種類と就業形態別加入の可否

区 分		特別加入			一般加入	
		中小事業主等	指定農業機械 作業従事者	特定農作業従事者		
任意組合	代表者等	○（いずれか1つに加入）			×	
	構成員（本人）	○（いずれか1つに加入）			×	
	従業員	家族	○（いずれか1つに加入）			×
		第三者	×	×	×	○
法 人 【配当】	代表者等	○（いずれか1つに加入）			×	
	構成員（本人）	○（いずれか1つに加入）			×	
	従業員	家族	○（いずれか1つに加入 ※一般加入には条件有り）			
		第三者	×	×	×	○
法 人 【給与】	代表者等	○（いずれか1つに加入）			×	
	構成員（本人）	×	○（いずれか1つに加入 ※一般加入には条件有り）			
	従業員	家族	×	×	×	○ [※]
		第三者	×	×	×	○

※上記の※印の付いた部分の「一般加入」には、①労働契約の締結、②労働者名簿への登載、③賃金台帳による支払給料の明確化、④1ヶ月に1度以上の現金による支給、⑤源泉徴収の実施などが必要となる。

また、保険料率は以下のように加入形態で変わります。特別加入の3種類の形態（中小事業主等）の詳細については、次回以降に紹介します。

表3 労災保険の種類と保険料率

	特別加入			一般加入
	中小事業主等	指定農業機械 作業従事者	特定農作業従事者	
保険料率（平成27年4月1日現在）	給付基礎日額×365日×下記料率			支払った賃金の 13/1,000
	13/1,000	3/1,000	9/1,000	

（担い手支援課）

がんばる農村女性起業家

～高岡市西広谷 ㈱前崎養鶏 前崎ひろみさん～

㈱前崎養鶏の卵は20年間以上にわたり、一つ一つの飼料を厳しく吟味し、抗生物質を一切使わないことにこだわるとともに、ストレスを与えない環境で育てた鶏から生まれた濃厚な卵です。平成22年から、長女のひろみさんが開発した自社の卵をたっぷり使用した『ゆめぷりん』を製造販売しています。新鮮な卵と厳選された材料を使った、とろ〜りと濃厚なプリンで、人気商品となっています。

今年度、「農村女性起業チャレンジ事業（県単）」を活用し、プリンに続く卵たっぷりのシフォンケーキ『かがやきシフォン』を開発、商品化しました。原材料の選定、配合割合、焼き具合、食味、賞味期限の設定等に苦心されました。原材料は、もちろん自社の卵と高岡産の小麦粉を用い、副材料に太白ゴマ油を使うなど、まさにこだわりの一品です。大きさも大ホールと中ホールの2種類があります。

「ゆめぷりん」とセット商品化して、贈答用として、また北陸新幹線開通により増加した観光客もターゲットに客層の拡大を図りたいと頑張っています。



シリーズ

新規就農者のご紹介

～第10回～

しばた ひでゆき
柴田 秀行さん(高岡市)

柴田秀行さんは、会社を退職後、射水市と小矢部市で1年5ヶ月間の研修を経た後、平成27年7月、高岡市小勢地区において自家で就農され、地域の消費者ニーズが高い品目としていちご高設栽培と旧盆用切り花部門を立ち上げ、経営を開始しました。

現在約100坪のビニルハウス3棟に定植されたいちごはたくさんの白い花を咲かせており、実も赤く成り始めています。生育は順調で、昨年の12月中旬からJA高岡市の直売所などで販売されています。また、7～8月に採花した小ギクやアスターは、組み花としてアグリッチ佐野店やアグリピア店などで販売され、高品質で地元客から好評を得ています。

これから、地域の消費者に喜ばれる農業を地域に浸透させようという思いを込め、日々作業に励んでおり、今後、益々の活躍が期待されます。

(担い手支援課 経営支援班)

(有)中山農産が農林水産大臣賞を受賞!!

平成 27 年 11 月 10 日(火)に開催された「第 18 回全国農業担い手サミット in みやざき」において、皇太子殿下ご臨席の下、(有)中山農産が平成 27 年度全国優良経営体表彰法入部門で最高位の農林水産大臣賞を受賞しました。

(有)中山農産は、水稻を主体にハトムギや里芋、枝豆、人参の複数品目を導入した先進的な複合経営を実践していること、枝豆の収穫機を自ら改良し、ほ場で引き抜き～脱莢～残渣廃棄まで可能にしたこと、イ草の刈取機を応用したスゲ収穫における機械化にも貢献していることなど、自らの創意・工夫による積極的な農作業の省力化の姿勢が高く評価されました。



(農)下村三箇が富山県功労賞を受賞!!

平成 27 年 11 月 4 日(水)に行われた平成 27 年度富山県功労表彰式において、(農)下村三箇が産業経済部門で表彰されました。

(農)下村三箇は、昭和 60 年に転作機械共同利用組合として発足し、30 年にわたり集落を基盤とした営農体制づくりに努めてこられました。後継者の育成や二毛作による農地の効率的な利用に率先して取り組むなど、地域農業の振興に寄与していることなども評価されました。



【この他の表彰について】

表彰名	受賞者名		備考
富山県農村文化賞	(農)あしつきの郷	射水市	
	J A いみず野地場野菜直売推進協議会	射水市	
全国麦作共励会	米コメ営農組合	高岡市	全国米麦改良協会会長賞
とやま地産地消優良活動賞	(有)ファーム中田	氷見市	地産地消優良活動表彰 北陸農政局長賞
地産地消給食等メニューコンテスト	ウェーブ	氷見市	北陸農政局長賞
農山漁村女性・シニア活動表彰	味実グループ	射水市	県代表(全国で審査中)

受賞された皆様、おめでとうございます。